

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月19日朝刊中部版

静岡市内の小中学校計123校が加盟する市PTA連絡協議会は18日、市内の市立小中学校の保護者を対象にした着衣泳体験会を駿河区の中島中で開いた。参加者約30人は、NPO法人グロウワイズの森田恵美子さん助言の下、水災害や水難事故防止に向け自己救助法を学んだ。

着衣泳はいざという時、呼吸を確保し救助されるまで浮き続ける自己救助法。参加者は「浮いて待て」をキーワードに手足を広げ、あおむけの状態で水面に浮く練習を行った。このほか、水難事故を見つけた場合、浮具を投げ込む練習を実践。清水海上保安部隊によるライフジャケットの正しい付け方の指導も受けた。

森田さんは、人間の体は水に2%しか浮かないと説明。靴や服、肺の中には空気がある。海や川に落ちた際は衣服を脱いだり、大きな声を出したりしてはいけない」と呼び掛けた。

着衣泳に初めて挑戦したという深沢理恵さん(38)は「服を着て背浮きすると足がスツと浮かんだ。靴の浮力に驚いた」と話した。

保護者が着衣泳体験

中島中、PTA連絡協

キーワードは「



衣服を着たまま水に浮く練習をする参加者
＝静岡市駿河区の中島中

①「着衣泳」の体験に参加したのはどんな人たちですか。

()

②「着衣泳」とはどんなものですか。記事中の説明しているところに線を引きましょう。

③衣服を着けた人が水の中で浮くのはなぜですか。記事から読み取って書きましょう。

()

④見出しの口にあてはまる「5字のキーワード」を記事中から見つけて書きましょう。

--	--	--	--	--

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月19日朝刊中部版

静岡市内の小中学校計123校が加盟する市PTA連絡協議会は18日、市内の市立小中学校の保護者を対象にした着衣泳体験会を駿河区の中島中で開いた。参加者約30人は、NPO法人グロウワイズの森田恵美子さん助言の下、水災害や水難事故防止に向け自己救助法を学んだ。

着衣泳はいざという時、呼吸を確保し救助されるまで浮き続ける自己救助法。参加者は「浮いて待て」をキーワードに手足を広げ、おおむけの状態で水面に浮く練習を行った。このほか、水難事故を見つけた場合、浮具を投げ込む練習を実践。清水海上保安部隊によるライフジャケットの正しい付け方の指導も受けた。森田さんは、人間の体は水に2%しか浮かないと説明。靴や服、肺の中には空気がある。海や川に落ちた際は衣服を脱いだり、大きな声を出したりしてはいけない」と呼び掛けた。



衣服を着たまま水に浮く練習をする参加者
＝静岡市駿河区の中島中

①「着衣泳」の体験に参加したのはどんな人たちですか。

(**静岡市内の市立小中学校の保護者**)

②「着衣泳」とはどんなものですか。記事中の説明しているところに線を引きましょう。

本文1段目14行目～2段目2行目「いざという時～自己救助法」に線を引く。

③衣服を着けた人が水の中で浮くのはなぜですか。記事から読み取って書きましょう。

(**(例)靴や服、肺の中には空気があるから。**)

④見出しの口にあてはまる「5字のキーワード」を記事の中から見つけて書きましょう。

浮いて待て

年 組 名前